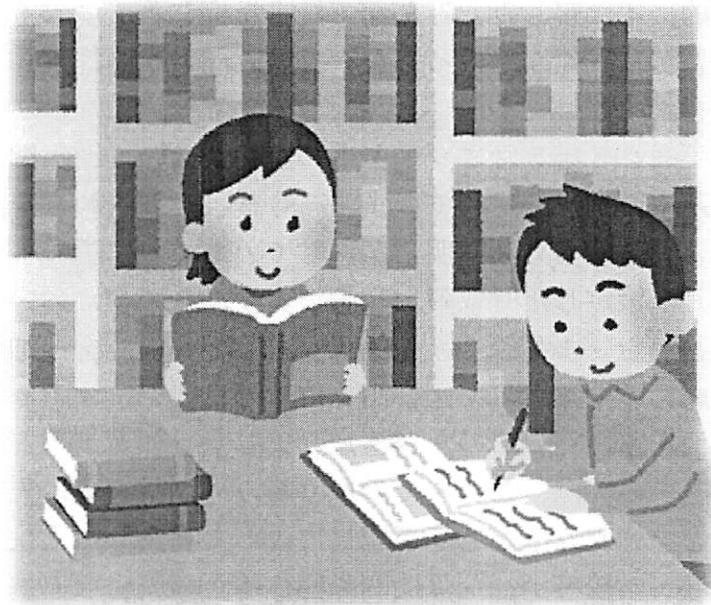


# **敦賀市子ども読書活動推進計画**



**平成29年3月**

**敦賀市教育委員会**

## はじめに

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上でかくことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことは極めて重要です。

福井県では平成22年3月に「元気ふくいっ子読書活動推進計画」を策定し「子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくり」を基本目標に掲げ、「心豊かな元気ふくいっ子を育む読み聞かせの推進」を重点活動として施策の推進を図っています。

国においても平成25年5月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第三次基本計画）を定めています。今後、おおむね5年間にわたる施策の基本の方針と具体的な方策を明らかにしています。

平成28年9月に策定した「敦賀市教育振興基本計画」においては「知の拠点」としての図書館を「まちづくりの拠点」としての機能を追加し、「活力ある地域社会の形成」の一翼として図書館を位置づけています。

このような状況を踏まえ、このたび策定しました「敦賀市子どもの読書活動推進計画」におきましては、これまでの取り組みの効果を更に充実させ、子ども達の読書環境を整備し、子ども達が読書によって充実した人生を送るための施策や家庭・地域・学校等が、関係機関や団体等との緊密な連携と相互の協力によって、社会全体で子どもの読書活動の推進に取り組むための方向性を示しています。

終わりに、今回の推進計画の策定に当たり、多大な御尽力を賜りました敦賀市子ども読書活動推進計画策定検討委員会の委員の皆様、貴重な御意見をいただいた市民の方々に厚くお礼申しあげます。

平成29年3月

敦賀市教育委員会教育長  
上野 弘

## 敦賀市子どもの読書活動推進計画<目次>

### 第1部 総論

1 計画の目標	1
2 施策の体系および期間	1
3 基本方針	2

### 第2部 各論

第1章 子どもの読書活動の推進	3
(1) 家庭における読書活動の推進	3
(2) 地域における読書活動の推進	4
(3) 学校及び保育所等における読書活動の推進	5
第2章 敦賀市の図書館の状況	7
第3章 計画の実現のための取組	8
第4章 結び	8
参考資料 (学習状況調査)	9

### 第1部 総論

#### 1 計画の目標

##### 1 家庭における読書活動の推進

家庭での読書の大切さを啓発し、家族みんなで読書を楽しむ環境づくりを進めます。

##### 2 読書環境の整備

子どもが自主的に読書を楽しめる環境の整備と人材育成を進めます。

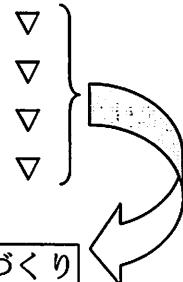
##### 3 読書に親しむ場や機会の提供

家庭・地域・学校・行政が連携協力しながら、子どもの発達に応じた質の高い本を届ける取組を進めます。

#### 2 施策の体系及び期間

この推進計画の体系は、次の4つの枠組みで構成し基本目標の「子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくり」の実現を目指します。また、計画期間はおおむね5年とします。

- ① 家庭、地域、学校を通じた読書活動の推進
- ② 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備
- ③ 図書館、学校、民間団体等の連携、協力
- ④ 人材の育成及び社会的機運の醸成



子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくり

- ◎ 重点的な取組 読み聞かせなどの本に親しむ活動の推進

### 3 子どもの読書活動推進計画の基本方針

#### 1 計画策定の趣旨

近年、子どもたちの読書環境が大きく変化しています。特に幼稚園、保育園等での幼児期で大切なものは母語の修得と、数理の理解であります。母語の修得には、幼少期の読み聞かせが大切であり、想像力や新しいものをつくり出す力が培われるとともに言葉が豊かになっていきます。しかし、世帯の核家族化が進んだことなどから、家庭での読み聞かせなどの機会が減る一方で、テレビゲームやインターネット、スマートホンなどの普及により、読書離れが進んでいると指摘されています。

子どもたちは、読書を通じて、実生活でなかなか経験することができない疑似体験や知識を得、さらには多様な生き方、多角的で柔軟なものの見方を身につけることができます。それは、他者を思いやる優しい心、円滑な人間関係の構築力、違う立場の人とのコミュニケーション能力など生きる力の向上にもつながります。

のことから、国では、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、基本理念をはじめ子どもの読書活動を推進するために必要な事項を定めました。また、この法律では、子どもの読書活動を推進するための国や地方公共団体の責務なども明らかにしています。

この「敦賀市子ども読書活動推進計画」は、こうした社会情勢を踏まえて、敦賀市の子どもたちに、読書の楽しさを知るきっかけや、発達段階に応じて読書に親しむ機会を提供し、読書活動を広げ、読書体験を深めることのできる環境づくりを目指して策定するものです。

#### 2 計画の目的

この計画は、子どもの読書活動の推進を中心に、子どもから大人までが幅広く読書に親しむことができる環境づくりと、次代を担う子どもたちの健全な育成に資することを基本目標として、家庭や地域、学校などと協力・連携して読書推進活動を総合的かつ効果的に進めることを目的に、その基本の方策などを定めるものです。

敦賀市では、「子ども読書活動の推進に関する法律」に基づき、国から第三次『子ども読書活動推進基本計画』による基本的施策と具体的方策が示されたことを受け、さらには平成28年9月に「敦賀市教育振興基本計画」が策定されたことを受け「敦賀市子どもの読書活動推進計画」を作成することとなりました。

子どもの読書活動は、社会全体で推進することが重要です。この計画では、そのために家庭、地域、学校等が連携し社会全体で読書活動を推進していく中で、図書館や学校等を中心に子どもの読書活動の普及・啓発に努

めるとともに連携強化などを明確にしていきます。

\* 「子ども」とは、おおむね18歳未満の者をいう

## 第2部 各論

### 第1章 子どもの読書活動の推進

#### (1) 家庭における読書活動の推進

##### 【現状と課題】

テレビゲームやインターネット、スマートホンなどの普及といった生活環境の変化に加え、学習塾や習い事などに費やす時間の増加により、家庭で子どもたちが読書をする時間が減少しています。また、核家族化の進行に伴い、祖父母から昔話を聞く機会もなくなっています。読書の前段階となるお話を聞いて頭の中で想像する経験が減っています。

更に、家庭で読書をする大人が少なくなり、子どもへの読書に対する影響力が低下するなどして、読書離れが進んでいます。

##### 【主な施策】

###### ◎ 家庭における読書時間の確保

各学校のスクールプランで計画されているように、ノーメール、ノーゲーム、ノーテレビの時間帯や曜日の設定を呼びかけ、家庭における子どもたちの読書時間の確保と読書の習慣づけを促進します。

また、子どもの読書の習慣化に向けた取組として家読(うちどく)の積極的な推進を行ない、家族みんなで読書することで家族のコミュニケーションを深めます。

###### ◎ 家族ぐるみの読書の推進

家庭における読書習慣の定着を図るため、読み聞かせのボランティアグループ等と協力し、読書活動の重要性や読み聞かせのノウハウ等について、啓発を推進します。

###### ◎ 読書活動の理解促進

乳幼児期からの読み聞かせの必要性や読書活動の重要性を広報・啓発し、家庭における読書活動への理解を促進します。

###### ◎ ブックスタート事業を活用した読書活動の普及推進

7ヵ月乳幼児と保護者を対象としたブックスタート事業をきっかけとして、乳幼児期から親子で本に親しむ習慣づけを更に推進します。

###### ◎ 読書との出会いづくり

年齢に応じた「読み聞かせ会」の実施やおすすめ本のリストを作成し父兄に子どもとの交わり、さらには読書への関心を高めていきます。

## (2) 地域における読書活動の推進

### 【現状と課題】

地域における読書活動は、図書館をはじめ、公民館、小学校、保育園、幼稚園、児童クラブ、子育て支援センターなどを拠点に展開しています。

図書館では、子どもたちが本に親しむ機会を少しでも増やすことを目的に、保育園、幼稚園や、学校などへの図書の配本や読み聞かせなどを行うとともに、ボランティアグループと協力しながら定期的に絵本の読み聞かせや図書の展示などを行っています。

子育て支援センターでは、ブックスタート事業にボランティアグループの協力をいただきながら、本の読み聞かせ、本に親しむためのさまざまな取組を行っています。

また、栗野公民館の託児室では毎月第3金曜日に絵本の読み聞かせ「ママのおひざ」を開催し、図書コーナーでは、カーペットを敷いて親子でくつろげるスペースを作り、子どもから大人まで気軽に読書ができる環境づくりを進めています。他の公民館でも子どもが気軽に図書に接する環境に配慮し子どもの読書活動に対する理解を深めています。更に、市内高校へのブックトークを行っているボランティアグループがあるなど地域ぐるみで子どもの読書活動に取組を促進します。

しかしながら、幼いうちから図書館に親しんだ子どもたちも、中学、高校へと進学するにつれて、利用率が低下しているのが現状です。

### 【主な施策】

#### ◎ 本に親しむ機会の充実

図書館を拠点に行ってきました読書活動推進のための事業を引き続き行うとともに、ボランティアグループと協力し保育園や幼稚園、小学校に出向いて行う読み聞かせ、ブックトークなどの機会の増加や、若者への読書活動推薦のためタイムリーな推薦本を提示するなどといった取組を促進します。

#### ◎ 郷土に関する資料の充実

子どもたちが、郷土の歴史を知り、ふるさとに誇りを持つことができるよう、図書館や博物館でわかりやすい郷土史資料などを整備し、その充実に努めます。

#### ◎ 良書の普及推進

蔵書や資料の収集に当たっては、良書普及の視点からこれを行うとともに、市民や関係機関、施設などからの選書相談にも積極的に対応し推薦図書の選定に努めます。

#### ◎ 図書館と学校、保育園、児童クラブなどの他機関との連携

蔵書に関する情報の共有、関係図書の貸し出しなど、図書館と学校図書館などとの連携を密にし、児童や生徒の調べ学習に対応できる環境の整備に努めます。

#### ◎ 図書館利用者への働きかけ

利用者に対して年齢に沿った特設コーナーや新刊本の展示、四季に応じた図書の掲示など子ども読書活動推進するためのさまざまな施策を行ないます。

#### ◎ ボランティアグループとの連携と育成

図書館や子育て支援センターなどで活動している「おはなしポケットの会」、「ママのおひざの会」、「杉の子サークルの会」、「わたげの会」や「なぎの会」などのボランティアグループなどに施設や研修の機会を提供するなど、その活動を支援し一層の連携を深めていきます。また、読み聞かせボランティアの養成講座を開催しボランティア団体の育成に努めます。

### (3) 学校及び保育所等における読書活動の推進

#### 【現状と課題】

乳幼児期や小学生期における読み聞かせや、様々なジャンルの本との出会いは、読書への興味・関心を広げるものであり、中学生期・高校生期における読書は、自我の確立や進路選択などに大きな影響を与えるものです。学校等における読書活動は、子どもが読書習慣を身につけるうえで大きな役割を果たすとともに、確かな学力の基盤を形成するうえで重要な役割を担っています。そのため、学校等においては、子どもの発達段階を踏まえて、読書の楽しさを指導するとともに、計画的・継続的に読書活動を推進していく必要があります。

幼稚園や保育園では絵本を読む時間は多く設けられており絵本からごっこ遊びにつなげていくことが多く、また発表会では絵本を基に劇遊びにつなげていくことが多く見受けられます。園便りで絵本の大切さを知らせたり、新しい絵本や各年齢に応じたお勧めの絵本を紹介しています。課題として、きまつた子ばかりが借りたり、反面、1年間全く借りない子も見受けられます。また、絵本を借りていっても実際に家庭で読んでもらっているかは不明であります。更に、子どもの絵本以外に保護者向けの本を準備しても借りていく人は限られているのが現状であります。

小学校、中学校においては、平成28年4月19日に実施された平成28年度全国学力・学習状況調査によりますと、

小学校調査では1日当たりどれくらいの時間、読書しますかの質問に対して、10分より少ない～全くしない児童が敦賀市29.2% 福井県30.

9% 全国36.5%となっております。

昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますかの質問に対して、年に数回程度行く、あるいは、ほとんどまたは全く行かない児童が敦賀市41.5% 福井県43.1% 全国 59.5%となっております。

また、読書は好きですかの質問に対して、どちらかといえば当てはまらない、あるいは当てはまらない児童が敦賀市30.0% 福井県26.5% 全国25.2%となっています。

小学6年生の読書時間については、国、県平均よりも長い時間読書をしており、図書館の利用につきましても国、県平均よりも利用回数が多いことが分かりますが、ただ読書好きではないという結果になっています。

中学校調査では1日当たりどれくらいの時間、読書しますかの質問に対して、10分より少ないあるいは全くしない生徒が敦賀市58.5% 福井県38.3% 全国50.3%となっております。

昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますかの質問に対して、年に数回程度行く、あるいは、ほとんどまたは全く行かない生徒が敦賀市77.1% 福井県77.4% 全国 81.1%となっております。

また、読書は好きですかの質問に対して、どちらかといえば当てはまらない、あるいは当てはまらない生徒が敦賀市35.4% 福井県30.7% 全国29.8%となっています。

中学校3年生につきましては、読書をしない生徒が国、県平均よりも多くいる事が分かり、学校図書館や地域の図書館を利用する生徒が国、県平均よりも僅かですが多いことが分かります。また、小学生同様に読書好きではないという結果になっています。 (9ページから14ページのグラフを参照ください。)

幼稚園や保育園などにおいては、子どもが絵本に親しみ、多くの図書に接することができるよう環境を整える必要があります。また、保護者に対しても読み語りの楽しさや意義を伝えていくことが大切です。

学校においては、児童、生徒の読書習慣を確立し言語力や論理的思考力を育むため、また自ら学び自ら考え、生涯にわたって学び続ける意欲を持たせることが大切であります。

幼稚園や保育園における絵本や物語の読み聞かせ、小学校・中学校・高等学校などにおける学校図書館の利用の促進が求められます。

本市の小・中学校では一斉読書活動が実施され、本に親しむ習慣づけを行なっています。児童生徒の読書活動を推進するため学校図書支援員が配置されています。

このような状況を踏まえ図書館では、担当司書が各施設のニーズに対して学校、保育園等の貸出図書を選定し、学校・保育園へ出向いて図書の配送・図書館の利用案内をしています。

#### 【主な施策】

##### ① 幼稚園、保育園等

- ◎ すべての子どもたちが、読書の楽しさを味わう体験をしたり、適書に親しむことで、意欲的に読書活動に取り組めるように啓発事業を促進します。
- ◎ 教員や保育士などによるお薦めの本の紹介など多様な本と出会う機会を設けます。
- ◎ 読み聞かせやブックトークなどのボランティア活動を推進、支援いたします。

##### ② 小学校・中学校・高等学校

(各学校スクールプランと図書館との連携による促進)

- ◎ 一斉読書を積極的に促進していきます。
- ◎ 書評合戦(ビブリオバトル)など先駆的な取組みを促進します。
- ◎ 学校図書館と図書館が連携しブックリストを活用し適書について意識啓発に取組みます。
- ◎ 授業内容と関連した推薦図書リストを作成・活用し、すすんで読書をする子どもたちを増加させます。
- ◎ 学校図書支援員向けの研修会を開催し研修の充実に努めます。
- ◎ 「子ども読書の日」「読書週間」などをはじめとしてとして読書活動啓発運動を推進します。

## 第2章 敦賀市の図書館の状況

敦賀市の図書館では、子どもを対象とした取組は、「子ども読書の日 おはなし会」、「こどもの日のつどい」、「夏休みアニメシアター」、「クリスマスのつどい」、主に学校支援員を対象とした読み聞かせ講演会「えほんの日講演会」、小学生を対象とした「知的書評合戦ビブリオバトル」を行なっています。

また、図書館の状況は次のとおりです。市民1人当たりの蔵書数は3. 8

冊、年間受入冊数は0. 10冊と全国6万人以上の市立図書館平均3. 7冊よりは高くなっていますが、県内平均6. 7冊よりは下回っています。

なお、蔵書構成は、一般書が76. 2%、郷土資料0. 6%、児童図書2. 2%、視聴覚資料1. 0%となっています。

また、平成27年度集計では、1日平均利用者数は754人、1日平均貸出冊数は1, 139冊、総登録者数は54, 032人となっています。

#### 市内図書館と全国平均との比較

「日本の図書館 統計と名簿 2015」から作成

### 第3章 計画の実現のための取組

この計画を実現するための取組は次のとおりです

- ◎ 子どもが質の高い本に出会うことができるよう、蔵書の充実に努めます。
- ◎ 質の高い本が普及するように、他機関での本の選書に協力します。
- ◎ 読み聞かせ会やおはなし会等を継続して実施し、子どもたちの読書の力をより一層伸ばします。
- ◎ ブックスタート事業を継続し一層の充実を図ります。
- ◎ 一人ひとりの子どもの年齢や興味、関心に適した本を適したタイミングで手渡せるよう、職員研修に努めます。
- ◎ 子どもの読書活動に関わる大人に、子どもの読書について学ぶ機会を提供します。

### 第4章 結び

この計画の体系は、子どもが自主的に楽しく読書に親しむことができる環境づくりを基本目標とし、家庭、地域、学校を通じた推進活動と推進のための施設、設備などの条件整備、さらに民間団体の連携、協力と活動を支える人材や団体の育成、社会的機運の醸成で構成されています。

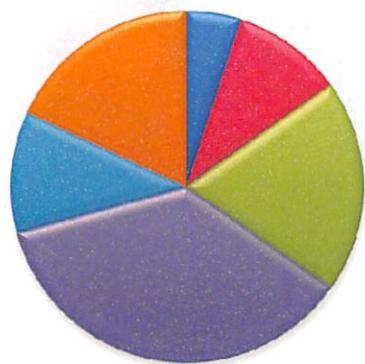
この計画が敦賀市の未来を担う子どもたちの心豊かな成長を促すための施策の基本的方向と具体的な指針となることを願います。

# 小学生調査

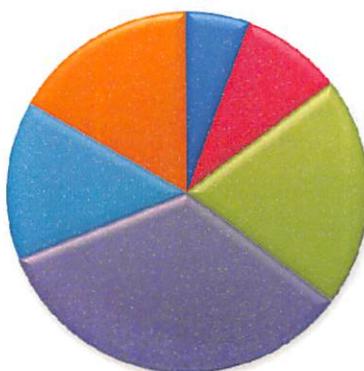
Q: 学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか  
(教科書、参考書、漫画)

	2時間以上	1時間以上、2時間未満	30分以上、1時間未満	10分以上、30分未満	10分未満	全くしない	その他	無回答
敦賀市(公立)	5	10.2	19.5	36	11.2	18	0	0
福井県(公立)	5.6	9.1	20.6	33.7	14.3	16.6	0.1	0
全国(公立)	6.8	9.9	19.8	27	15.9	20.6	0.1	0

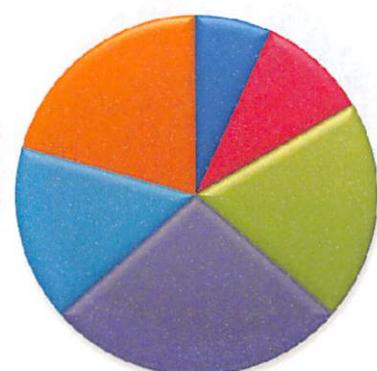
敦賀市  
(公立)



福井県  
(公立)



全国  
(公立)



■ 2時間以上

■ 10分以上、30分未満

■ その他

■ 1時間以上、2時間未満

■ 10分未満

■ 無回答

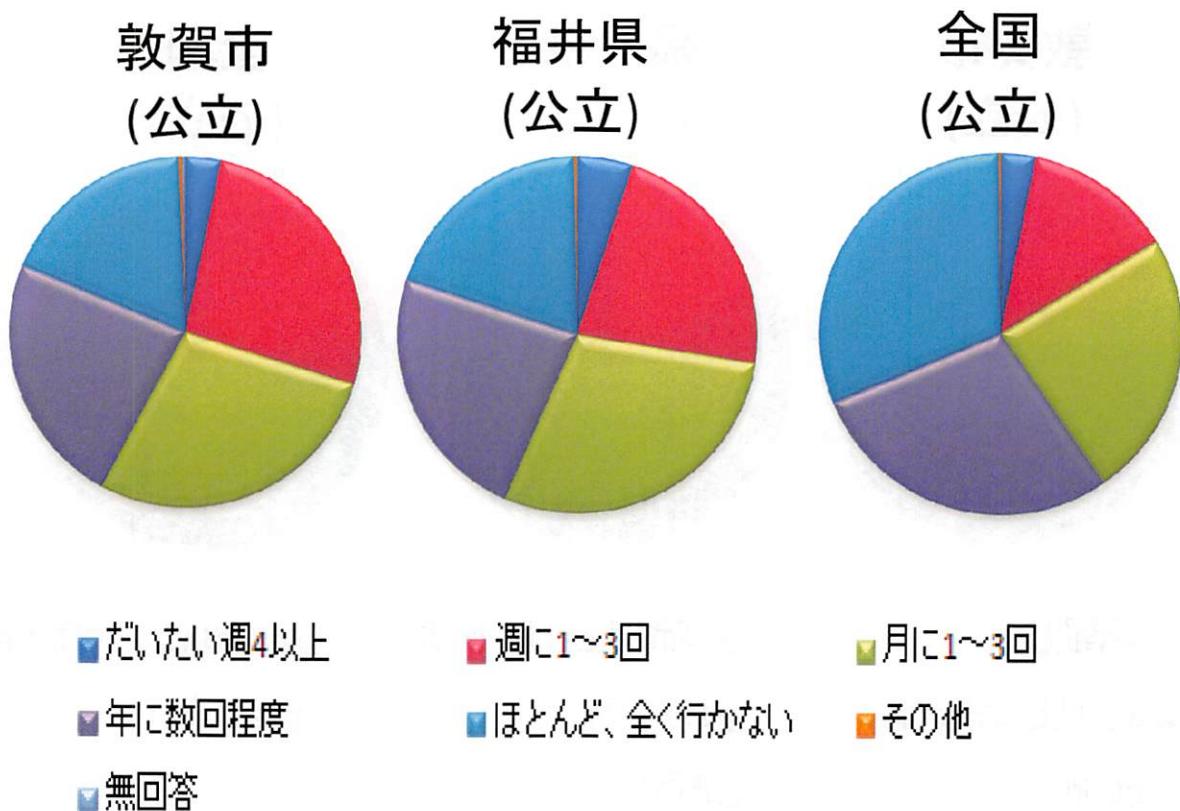
■ 30分以上、1時間未満

■ 全くしない

# 小学生調査

Q: 昼休みや放課後、学校の休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらいいきますか

	だいたい 週4回以上	週に1~3回	月に1~3回	年に数回 程度	ほとんど、全 く行かない	その他	無回答
敦賀市(公立)	3.3	26.4	28.1	23.3	18.2	0.3	0.3
福井県(公立)	5	22.5	29.1	23.4	19.7	0.2	0.1
全国(公立)	3.1	13.3	23.9	28.4	31.1	0.2	0

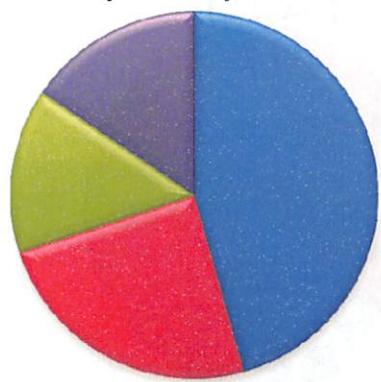


# 小学生調査

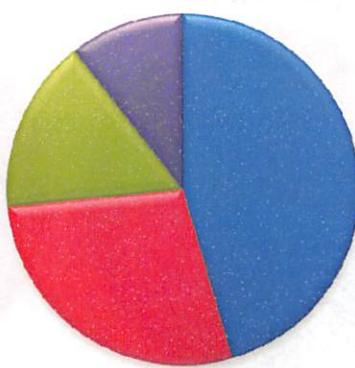
Q: 読書は好きですか

	当てはまる	どちらかといえど、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	その他	無回答
敦賀市(公立)	45.6	24.3	14.5	15.5	0	0
福井県(公立)	45.5	28	16	10.5	0	0
全国(公立)	49.3	25.3	15.3	9.9	0.1	0.1

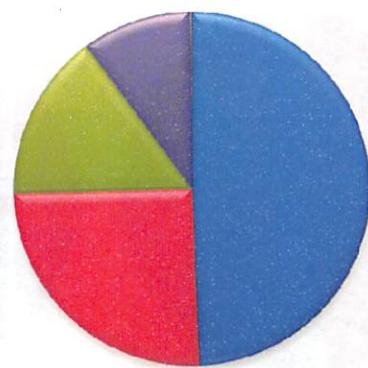
敦賀市  
(公立)



福井県  
(公立)



全国  
(公立)



■当てはまる

■どちらかといえば、当てはまる

■どちらかといえば、当てはまらない

■当てはまらない

■その他

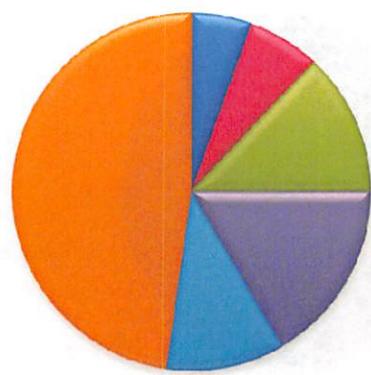
■無回答

# 中学生調査

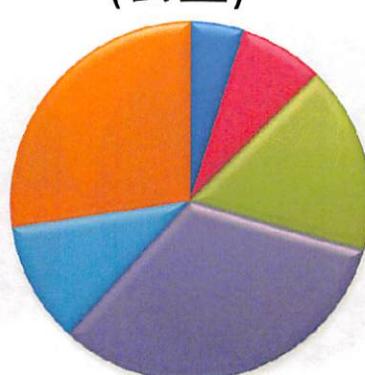
Q:学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか  
(教科書、参考書、漫画)

	2時間以上	1時間以上、2時間未満	30分以上、1時間未満	10分以上、30分未満	10分未満	全くしない	その他	無回答
敦賀市(公立)	5.4	6.6	12.9	16.6	10.7	47.8	0	0
福井県(公立)	4.8	7.6	17	32.3	11	27.3	0	0
全国(公立)	5.5	8.1	14.6	21.5	13.1	37.2	0	0.1

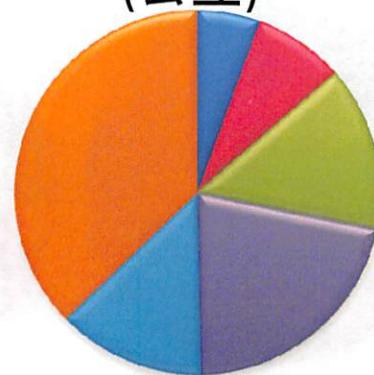
敦賀市



福井県  
(公立)



全国  
(公立)



■ 2時間以上

■ 10分以上、30分未満

■ その他

■ 1時間以上、2時間未満

■ 10分未満

■ 無回答

■ 30分以上、1時間未満

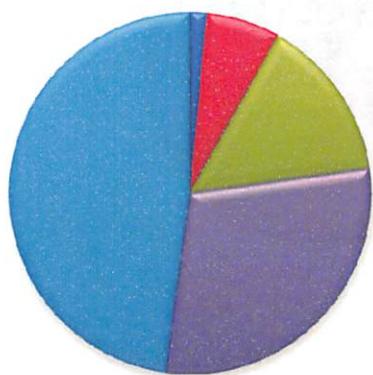
■ 全くしない

# 中学生調査

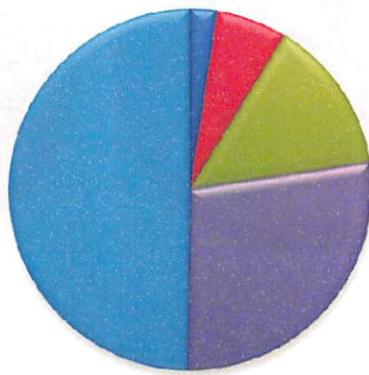
Q: 昼休みや放課後、学校の休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらいいきますか

	だいたい 週4回以上	週に1~3回	月に1~3回	年に数回 程度	ほとんど、全 く行かない	その他	無回答
敦賀市(公立)	1.5	6.6	14.7	29.3	47.8	0	0
福井県(公立)	2.4	6.3	13.9	27.6	49.8	0	0
全国(公立)	2	5.6	11	23.1	58	0	0

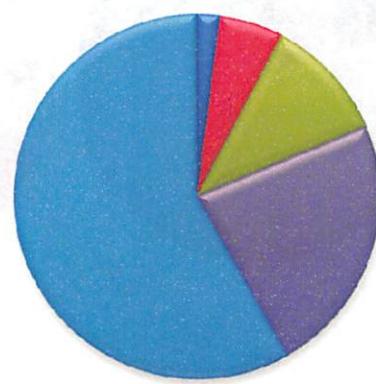
敦賀市  
(公立)



福井県  
(公立)



全国  
(公立)



■ だいたい週4回以上  
■ 年に数回程度  
■ 無回答

■ 週に1~3回  
■ 月に1~3回  
■ その他

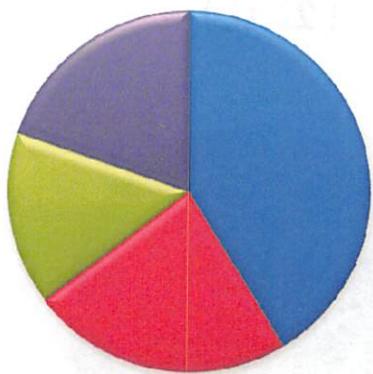
■ 月に1~3回  
■ その他

# 中学生調査

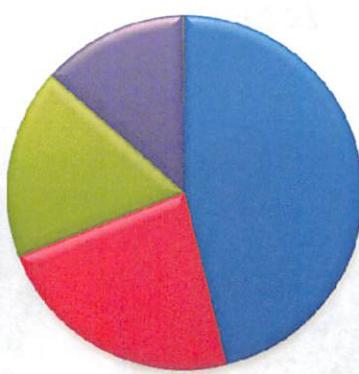
Q: 読書は好きですか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	その他	無回答
敦賀市(公立)	41.2	23.4	15.6	19.8	0	0
福井県(公立)	46.2	23	17.4	13.3	0.1	0.1
全国(公立)	46.5	23.4	16.2	13.6	0.1	0.2

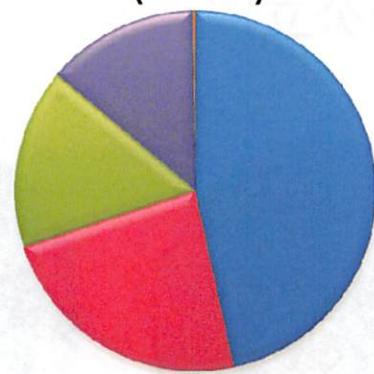
敦賀市  
(公立)



福井県  
(公立)



全国  
(公立)



■当てはまる

■どちらかといえば、当てはまる

■どちらかといえば、当てはまらない

■当てはまらない

■その他

■無回答